



旭区マスコット
キャラクター
あさひくん

二俣川ニュータウンだより

Vol 15

◆編集・発行 二俣川ニュータウン連合町内会 二俣川ニュータウン地区社会福祉協議会

2025(令和7年)
7月19日発行

世代をつなぎ、地域をむすぶ。 ニュータウン大運動会に1000人！



左上から順に、障害物競走、ボール送りリレー、親子でバン（風船をお尻で割ったら掛ってゴールへ）、ふれあいたずね（拾ったカードに該当する人を見つけ手をつないでゴールへ。カードには「カッコイイお兄さん」と、同じく「中学生のお姉さん」、マル得・早い者勝ち、100m競走、町内対抗綱引きしりしり、玉入れ、おみこしワッショイ、町内対抗綱引き、二人三脚、町内対抗リレー、中沢音頭

歓声と笑顔がはじけばなしの一日でした。

予定されていた5月31日(土)が雨天のため、翌6月1日(日)に順延となった『第48回二俣川ニュータウン大運動会』。正午の気温が22℃、湿度61%と絶好の運動会日和の中、1000人を超える住民の方々が参加されました。

今回は町内対抗種目に「樽転がしリレー」が加わり、これまでの「綱引き」と「リレー」を合わせ3種目となりました。総合順位は以下の通りです。

1位 南部・西部 2位 中央・東部 3位 清水ヶ丘

4位 第一・第二 5位 北二・北五 6位 北一・北三・北四

南部・西部チームは、コロナ禍明け初めての開催となった昨年に続いて優勝です！

演目の最後は、たくさん子どもたちが輪になって踊った「中沢

音頭」。中沢小学校の創立30周年を記念してつくられた中沢音頭ですが、ニュータウン大運動会で踊るのは、おそらく初めてではないでしょうか。

同じ町内会に暮らしながら、この日初めて言葉を交わしたという人同士が、声を合わせて綱を引く。最後尾を力走する選手に、惜しめない声援と拍手が送られる。「初めて参加したけど、すごく楽しかった」「みんなで食べたシウマイ弁当が美味しかった」という声も聞かれました。

この日のために会場を提供くださった中沢小学校と、運営に携わっていただいた町内会やスポーツ推進委員、青少年指導員をはじめとする各種団体の皆様に心から感謝申し上げます。



地震に強い我が家にー横浜市が補助を拡充ー

感震ブレーカー 個人で申込みが可能に



大規模地震における火災は6割以上が「電気」が原因で起きています。避難するときはブレーカーを落とすよう呼びかけられていますが、状況によっては困難な場合も。そこで「通電火災」の防止に役立つのが感震ブレーカーです。横浜市では、これまで町内会単位でしか申請できなかった地域（旭区も該当）でも、個人世帯での申込みを可能にしました。器具代の一部補助や高齢者・障がい者等のみの世帯には取付代行サービスもあります。お問い合わせは市が委託する船山株式会社のコールセンター：フリーダイヤル0120-993-918まで。またはこちらをご覧ください→



耐震診断・改修 グレーゾーン住宅にも拡大

これまで旧耐震基準（1981年5月までの着工）の建物に限られていた耐震診断や耐震改修などへの支援を、今年度から新耐震基準のグレーゾーン住宅（1981年6月～2000年5月末の着工）に拡大しています。「新耐震」ではあっても2000年の「新・新耐震基準」以前に建てられたグレーゾーン住宅はニュータウンにも多く存在します。まずは耐震診断（無料）を受けられてはいかがでしょうか。

横浜市 建物の耐震化支援 検索



家具転倒防止 器具代を一部補助



大地震でけがをした原因の3割から5割は家具転倒によるものです。また、転倒・落下した家具は火災や避難の遅れを引き起こす恐れがあります。横浜市では高齢者・障がい者のみで構成される世帯の方へ、家具転倒防止器具の取付代行や器具代金の一部補助を行っています。お問い合わせは市が委託する株式会社アイリスプラザ ユニティ狛江店：電話03-5438-5511まで。または、こちらをご覧ください→



古い家の耐震化をしたい！



専門部の紹介

第1回 広報部

連合町内会には「広報」「防災」「子ども活動・行事支援」「環境」の4つの専門部があります。

このうち広報部の役割は文字通り「広報」。具体的には「二俣川ニュータウンだより」の編集「ホームページの制作」「旭区連合自治会町内会連絡協議会ホームページへの記事提供」などにより、ニュータウン内外への情報発信を行っています。ホームページには外部の方からのアクセスも多く、ニュータウンへの転入を検討されている方が少なくないと思われます。これからも楽しく、分かりやすい情報発信を心掛けてまいります。

広報
スタッフ
大募集！

原稿執筆・写真撮影・インタビューなど
ご自分の得意分野でお力を貸してください！

ご存じでしたか？ 新生児誕生のお祝い金



新生児誕生を祝し、地域としてもお子さまを見守り育てる門出として、各町内会と連合町内会共同で、お祝い金を差し上げています。

♥対象世帯 町内会加入世帯

♥申請方法 所属班長に申し「新生児誕生祝い金申請書」に必要事項を記載し申請

（双子さんは2児分申請可）

お子さまが1歳になるまでに申請してください

令和7年度
ニュータウン夏祭りは、
8月23日（土）
（雨天時24日（日））に
中沢小学校校庭にて
実施します。
お楽しみに。



今年もお天気に恵まれた福祉まつり

三世代輪投げ地区予選も同時開催

6月7日(土)に中沢小学校の校庭で開催された地区社協主催「第31回福祉まつり」。毎年、梅雨どきの開催ですが、不思議と雨にたたられたことがありません。

たくさんの親子連れが来場(推定900人)し楽しんでいました。バザーやフリーマーケットで掘り出し物を見つたり、模擬店で食べ歩きをしたり、楽しみ方はさまざまです。

バザーには住民75名以上の方々から品物のご提供をいただきました。バザーと模擬店の収益は合わせて約20万円となり、この収益を今年度の地区社会福祉協議会の活動費に充てさせていただきます。皆さまありがとうございます。

今年もよこはま看護専門学校の学生さん13名が参加してくださり、ロコモダンス教室や模擬店、健康チェックなどをお手伝

いただきました。今宿地域ケアプラザからは4名が参加していただき、図書室で健康チェック・介護相談を実施しました。健康に関心ある方が多く来場者は83名で、小学生もたくさん参加し盛況でした。

三世代輪投げは8町内会が出場。北一町内会が優勝し、北四町内会が準優勝でした。この合同チームが9月に開催される旭区区民スポーツ祭(区大会)に出場します。ご健闘をお祈りしています。

このイベントの開催には多くのご協力がありました。地域の各種団体、ボランティアグループ連絡会、旭中・中沢小保護者ボランティア、今宿地域ケアプラザ、よこはま看護専門学校学生さんなど、皆さまに心から感謝申し上げます。



子どもたちがフリーマーケットでお宝探し



毎回のイベントで不動の一番人気、焼き鳥です



看護専門学校の学生さんによるロコモダンス教室



8町内会で競った三世代輪投げ大会



サイコロゲームは子どもたちに大人気



図書室で行われた介護相談と健康チェック

ニュータウン地区で活動しているボランティア団体を紹介します

地域で暮らす高齢者や、未就学児と保護者の人たちを対象に、ボランティア団体が活動しています。皆さまのご参加を心からお待ちしております。また、チョコットしえんたいは、高齢者の困

りことをお手伝いする生活支援ボランティア団体です。対象の方々から多くの依頼があり、高齢化が進むニュータウン地区にはなくてはならない活動となっています。

二俣川ニュータウン地区社会福祉協議会 (2025年4月現在)

活動内容	団体名	対象者	参加費用	活動日時	活動場所	代表者	設立年月
昼食会	萌ぎ会	独居・日中高齢者のみ世帯・70歳以上	500円	月1回 (8月は休み) 第2水曜日 12:00~14:00	連合町内会館	阿久井 直美	1992年 (平成4年) 8月
サロン	お茶べりサロン さんさん	高齢者から 乳幼児まで どなたでも	100円	月1回 第4水曜日 11:00~14:00	連合町内会館	宮寺 良孝	2019年 (令和元年) 4月
サロン	サロン・あさひ	65歳以上及び中途障害者	100円	月4回 (8月は休み) 第1~第4火曜日 13:00~15:00	連合町内会館	小澤 清子	2003年 (平成15年) 6月
子育てサロン	わいわいクラブ	未就学児と 保護者	無料	月1回 第3木曜日 10:00~11:45	連合町内会館	関川 弥生	2002年 (平成14年) 10月



高齢者向け昼食会の「萌ぎ会」



「サロンあさひ」の第1・第3火曜日は太極拳、
第2火曜日は麻雀・おしゃべり、第4火曜日はもじり絵



未就学児と保護者向けのわいわいクラブです



お茶べりサロンさんさんの皆さんです



「私たちがチョコットしえんたいを支えています。ご参加いただける方を募集しています。私たちと一緒にボランティア活動をやりませんか」
(代表 春田明) 連絡先 (坂東英夫)

<編集後記>ニュータウン地区は、1962年に東急不動産により「グリーンヒル10万坪の街作り計画」で広大な原野の宅地開発が始まり、最初の分譲は1964年、西部町内会の地域からでした。2000年に北部第五町内会が発足し、現在の11町内会、約1万人の街となりました。入居が始まってから既に60年が経ち、今でも先人たちが築き上げてきた街作りの思いが引き継がれています。その一つがボランティア団体の活動です。住民の繋がりができて初めて「住んで良かったと思える街ニュータウン」です。ボランティア活動の担い手を次世代に引き継ぐ必要があります。(小菅)

◆発行責任者 / 連合町内会 会長 菅本知恵 社会福祉協議会 会長 出井善次

◆編集委員 / 阿久井直美 大庭悟影 小野寺慎一郎 宮崎均 小菅昭

二俣川ニュータウン地区ホームページ

連合町内会: <https://www.futamatagawa-newtown.com>

社会福祉協議会: <https://fnt-shakyo.sakura.ne.jp/>

